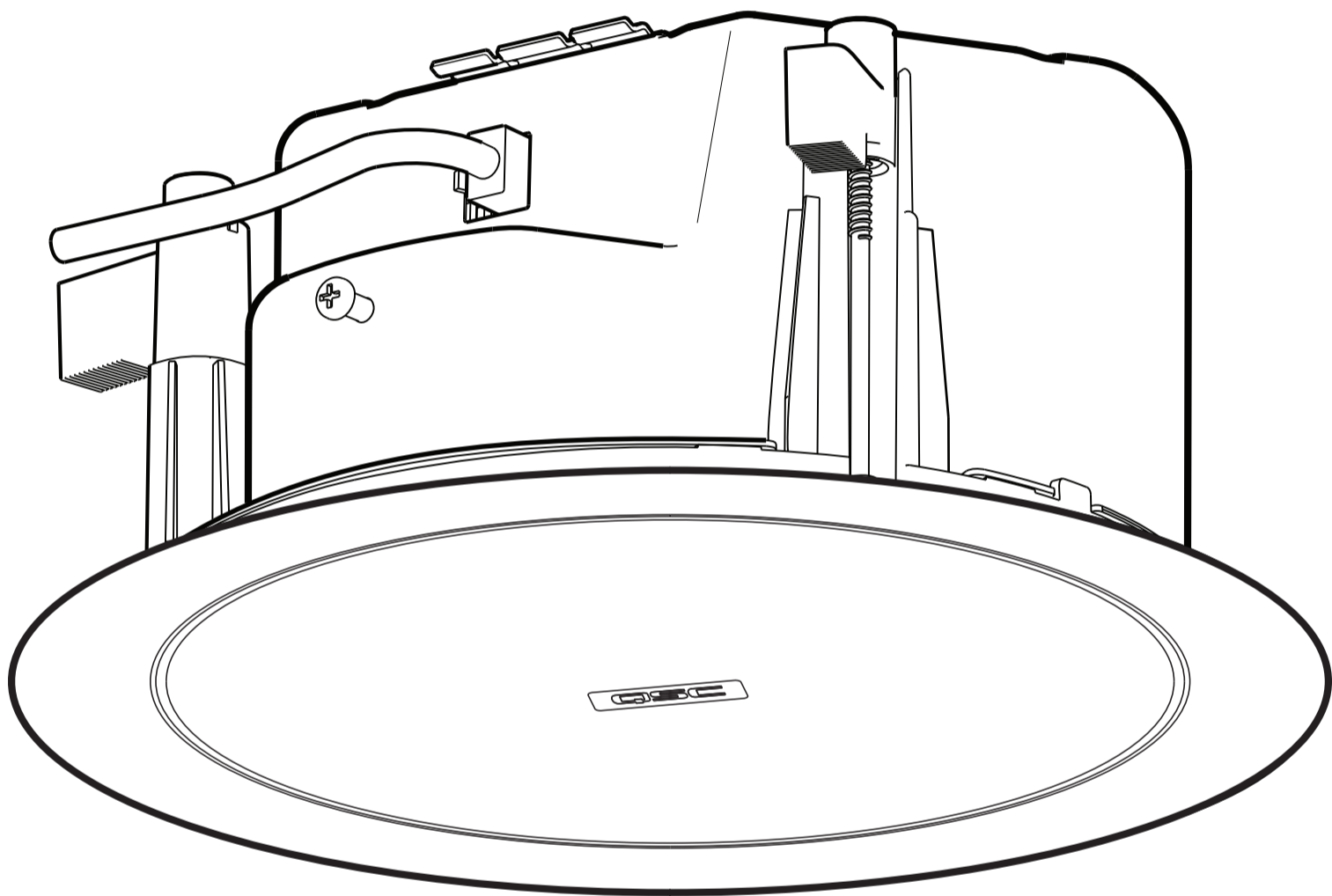


NL-C4

4インチフルレンジ、薄型天井取付型ネットワークラウドスピーカー




## 用語および記号の説明


用語「**警告!**」作業者の安全に関する指示です。これらの指示に従わないと、怪我をしたり、死に至る可能性があります。

用語「**注意!**」物理的な機器への損傷の可能性に関する指示です。これらの指示に従わないと、保証の対象とならない機器への損傷が生じる可能性があります。


用語「**重要!**」手順を遂行するための重要な指示または情報です。

用語「**注記**」は、役に立つ付加情報です。

 三角形の中の矢印記号が付いた稲妻マークは、人が感電するリスクとなるような大きさの絶縁されていない「危険な」電圧が製品内部に存在することをユーザーに対して注意喚起する目的があります。


 三角形の中の感嘆符は、マニュアル内において安全性および操作と保守整備に関する重要な指示があることをユーザーに対して注意喚起する目的があります。

### 安全性に関する重要な指示

 **警告!** 火災や感電を防ぐために、本機器を雨や湿気にさらさないでください。

1. この指示書を読み、守り、保管してください。
2. すべての警告に従ってください。
3. この装置を水の近くで使用しないでください。
4. 乾いた布のみを使って清掃してください。
5. 熱を発生するラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、その他の器具(アンプを含む)などの熱源の近くに設置しないでください。
6. メーカー指定の付属品／アクセサリのみを使用してください。
7. すべての整備は、資格を持つ整備士に依頼してください。電源コードまたはプラグが損傷を受けた時、器具に液体がかかったり、器具の上に物が落ちた場合、器具が雨や湿気にさらされた場合、正常に作動しない、または器具が落下したなど、いかなる形であれ器具が損傷を受けた場合には、整備が必要となります。
8. 器具を水または液体の近くで使用しないでください。
9. 器具を水または液体に沈めないでください。
10. 器具に対して、またはその付近で、あるいはその中に向けてエアゾルスプレー、クリーナー、殺菌剤または燻蒸剤を使用しないでください。
11. 現地のすべての適用基準に従ってください。
12. 物理的な機器の設置に関して懸念や疑問が生じた場合は、認可を受けた専門技術者に相談してください。

## 保守整備と修理


 **警告:** 最新の材料や強力な電子機器の使用などの先進技術には、特定の保守整備や修理方法が必要となります。器具に対する損傷、人的被害、新たな安全上の危険が発生するといった危険を避けるために、器具に対して行うすべての保守整備と修理作業は、QSC認定サービスステーションまたはQSC認定国際代理店のみが行わなければなりません。それらの修理を円滑に行うことを顧客、器具のオーナーまたはユーザーが怠ることにより生じるいかなる怪我、損害または関係する損傷に対してもQSCは責任を負いません。

 **重要!** PoE電源入力: PoE+ Type 2 Class 4対応。「接続と制御」を参考にしてください。

## 清掃

 **警告:**ハウジングに液体が入ると、内部の電子機器が損傷することがあります。本製品を清掃する場合は、液体から遠ざけ、溶剤や化学薬品は使用しないでください。柔らかい少し湿らせた布、または乾いた布で清掃してください。

## FCC声明

 **注記:**本機は、FCC規則第15部に従って、Class Bのデジタル装置の制限に準拠していることが試験によって確認されています。これらの制限は、住宅地域に設置する際に、有害な障害から適切に防護することを意図しています。本機は、無線周波数エネルギーを発生、使用、放射し、指示に従って設置、使用しないと、無線通信に重大な干渉を引き起こすことがあります。しかしながら、特定の設置において干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機の電源をオン／オフにすることで、本機がラジオやテレビの受信に重大な干渉を引き起こすことが判明した場合、ユーザーは次の手段の1つあるいは複数を行い、干渉をなくすようにしてください。

- 受信アンテナの向きや場所を変える。
- 本機と受信機の距離を長くする。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオ／テレビ技術者に相談する。

## 仕様と寸法

NL-C4の製品仕様と寸法図は、[www.qsc.com](http://www.qsc.com)からオンラインでご覧いただけます。

## 環境

- **推定製品寿命:**10年
- **保管温度範囲:**-20°Cから+60°C
- **相対湿度:**相対湿度5～85% (結露しないこと)

## RoHS

QSC Q-SYS NL-C4は、欧州指令2011/65/EU-特定有害物質使用制限 (RoHS2) に準拠しています。

QSC Q-SYS NL-C4は、「中国RoHS」指令GB/T26572に準拠しています。以下の表は、中国およびその区域で製品を使用するためのものです。

部品名称 (部品名)	QSC Q-SYS NL-C4					
	有害物質 (有害物質)					
	鉛 (鉛)	汞 (水銀)	銅 (カドミウム)	六価鉻 (六価クロム)	多溴联苯 (多臭素化ビフェニル)	多溴二苯醚 (ポリ臭素化ジフェニルエーテル)
电路板组件 (PCBアセンブリ)	X	○	○	○	○	○
机壳装配件 (シャーシアセンブリ)	X	○	○	○	○	○

本表格依据SJ/T 11364的规定编制。

O:表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T 26572规定的限量要求以下。

X:表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T 26572规定的限量要求。

(目前由于技术或经济的原因暂时无法实现替代或减量化。)

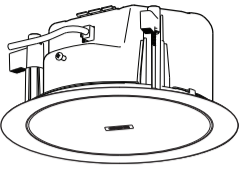
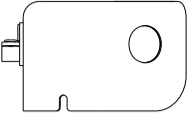
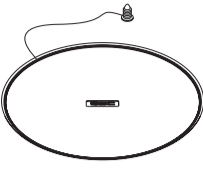
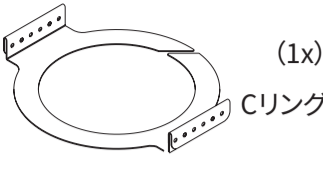
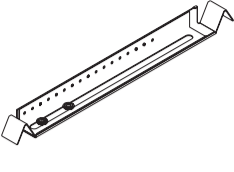
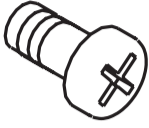
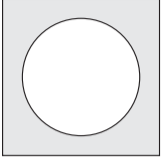


この表は、SJ/T 11364の要件に従って作成されています。

O:該当部品の均質材料すべてにおいて該当物質の濃度が、GB/T 26572が規定する関連閾値よりも低いことを示しています。

X:該当部品の均質材料のうち、少なくともいずれか一つにおいて、該当物質の濃度が、GB/T 26572に規定される関連閾値よりも高いことを示しています。

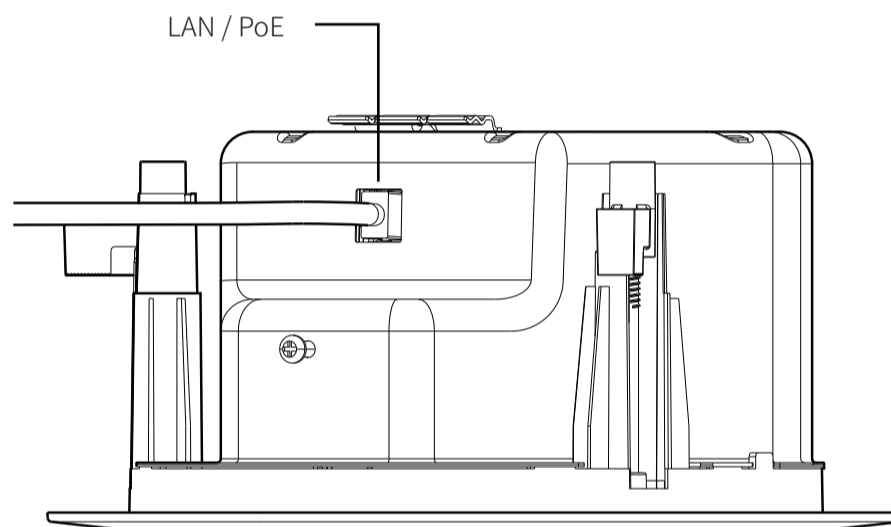
(内容物の交換および削減は、技術的または経済的な理由で、現在実現できません。)

## 内容物

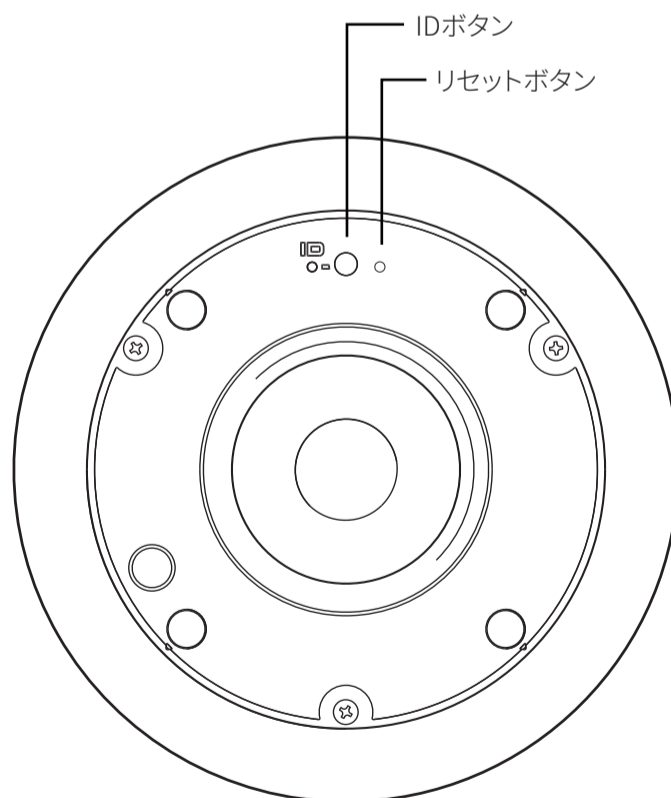
 (1x) NL-C4	 (1x) 電線管クランプ付き カバープレート	 (1x) スナップ フィットするマグネ ットグリル	 (1x) Cリング	 (2x) 伸縮式 タイル レール
 (4x) タイル レール 用ねじ	 (1x) 切り抜き テンプレ ート	 (1x) 保証書	 (1x) 安全に関 する情報	

## 接続と制御

- **LAN/PoE**: RJ-45コネクタはQ-SYSギガビットイーサネットおよびパワーオーバーイーサネット (PoE) 用です。Cat5e配線またはそれ以上が必要です。PoE+ Type 2 Class 4 対応。
- **IDボタン**: 押すとQ-SYS DesignerソフトウェアまたはQ-SYS Configuratorで本製品を識別します。IDモード中はステータスLEDが点滅します。もう一度ボタンを押すと停止します。
- **リセットボタン**: リセットボタンを使用すると、デフォルトのネットワーク設定を復元し、工場出荷時の設定に戻すことができます。リセットを試みる前に、詳細について [Q-SYSのヘルプ](#) を参照してください。



— 図 1 —



— 図 2 —

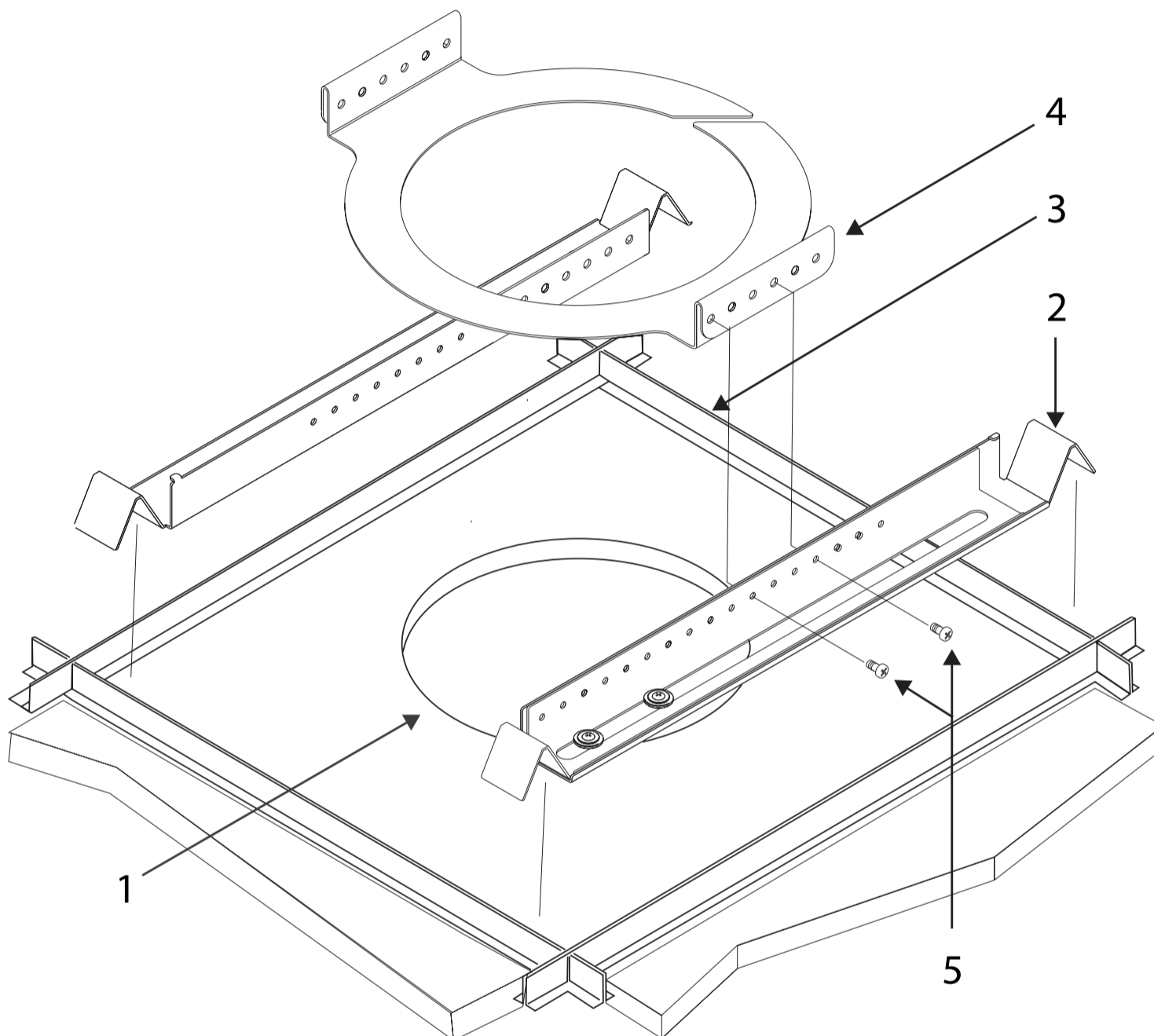
# 設置

## 天井の準備

図3を参照してください。

1. 付属のテンプレートを使ってラウドスピーカーを設置する位置に印をつけ、天井に穴(1)をあけてください。フレーム構造の天井の場合は、「ラウドスピーカーの配線」までスキップしてください。
2. 2つの伸縮式タイルレール(2)を穴の両側に1本ずつ取り付け、吊り天井用サポートレール(3)で支持します。
3. タイルレールを支えに、Cリング(4)を穴に取り付けます。Cリングのクリップがタイルレールに正しく装着されていることを確認してください。
4. タイルレール用ねじ(5)を使って、Cリングをタイルレールに固定します。

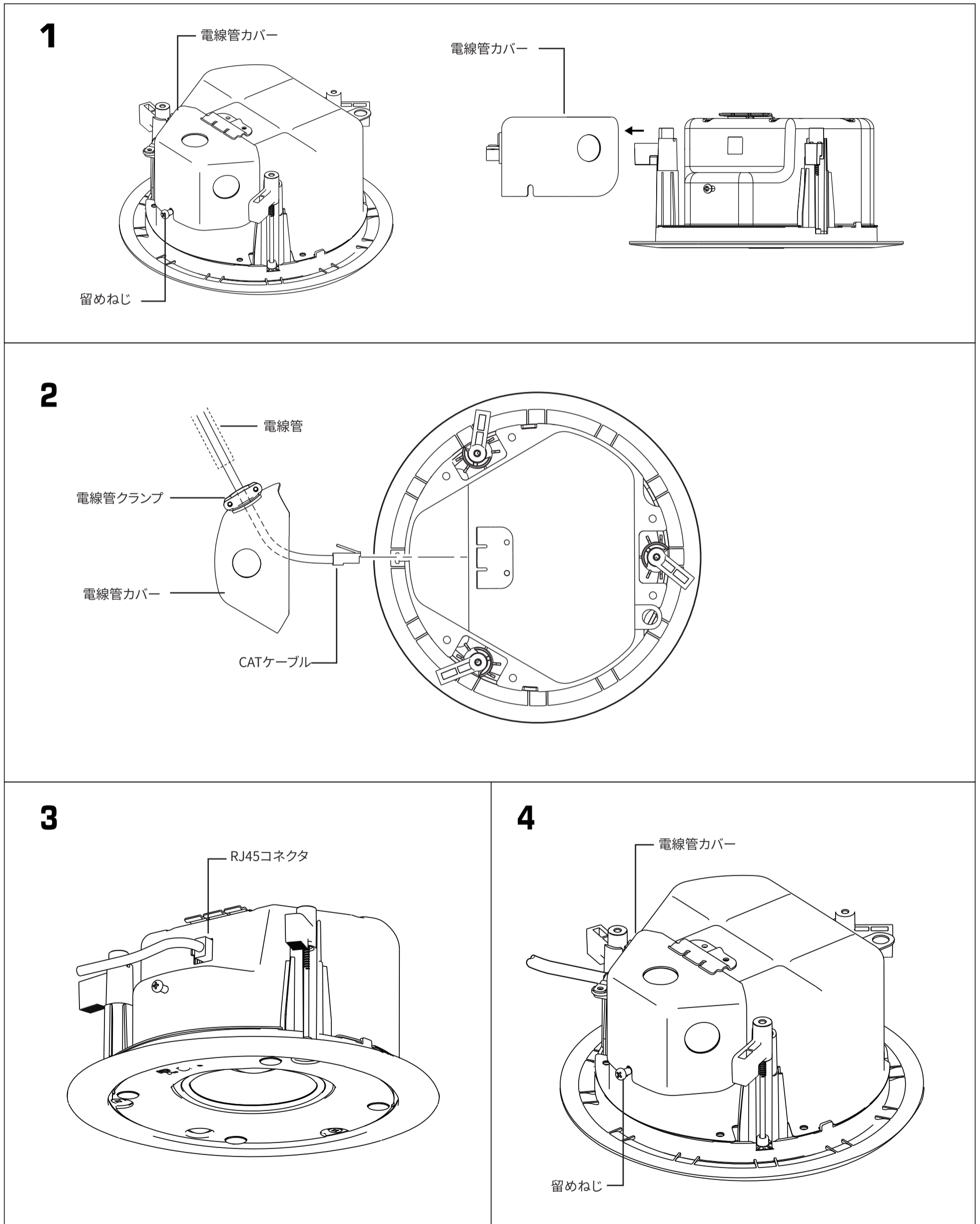
**!** **重要!** タイルレール用ねじを使用しない場合、タイルに不要なたるみが発生することがあります。



— 図3 —

## ラウドスピーカーを配線する

1. 図4のステップ1に示すように、電線管カバーのプラス固定ねじを停止位置まで戻し、電線管カバーをまっすぐ引き出して取り外します。
2. 図4のステップ2に示すように、接続するために十分な電線を残して、CATケーブルを電線管/応力緩和クランプに通してください。クランプを電線に、または電線管を使用している場合は電線管に、注意深く締め付けます。
3. 図4のステップ3に示すように、RJ45コネクタをジャックにしっかりと差し込みます。
4. 図4のステップ4に示すように、電線管カバーを再び取り付け、プラス固定ねじで固定します。

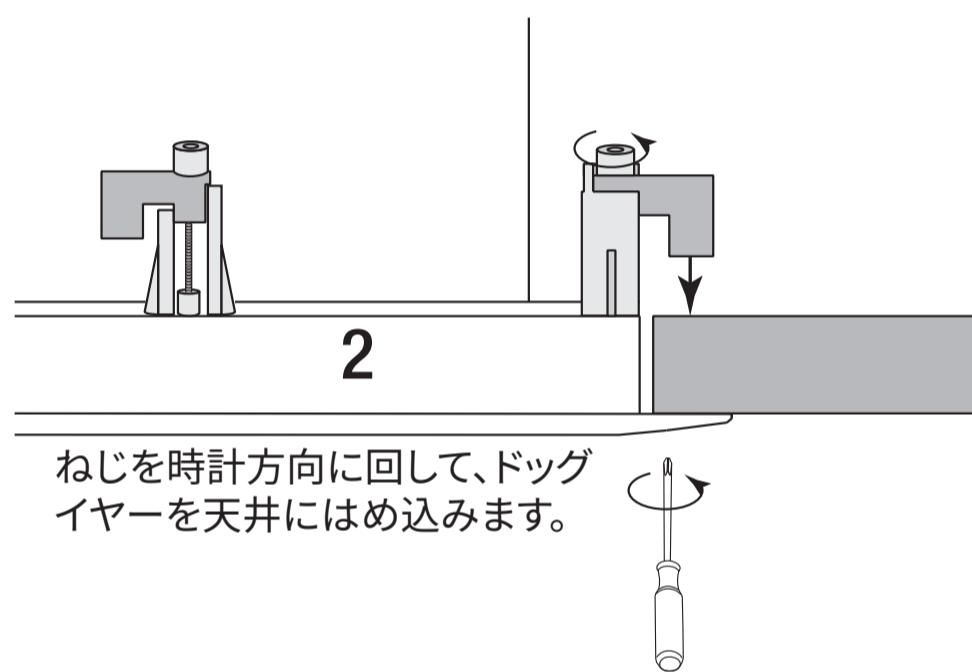
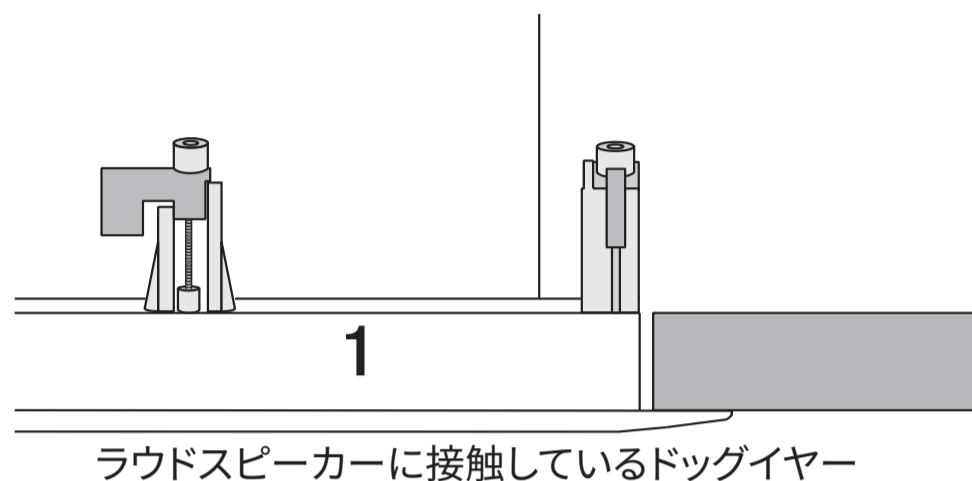


## ラウドスピーカーの取り付け

図5を参照してください。

1. すべてのドッグイヤーが完全に伸び、非固定位置にあることを確認します。
2. ラウドスピーカーを天井に開けた穴に合わせます。
3. プラスドライバーを使って、3本のドッグイヤー用ねじをそれぞれ締め付けます。
4. ねじが締まると同時に、ドッグイヤーは天井の固定位置まで移動します。すべてのドッグイヤーが天井に対して正しい位置にあることを確認してください。
5. 天井面にしっかりと接触するまでドッグイヤーを締め付けます。

**!** **注意!** ドッグイヤー用ねじを締め過ぎないでください! グリルの安全テザーピンをラウドスピーカーバッフルの付属の穴に差し込み、グリルを取り付けます。

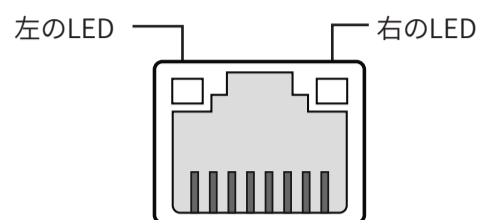


— 図 5 —

## 接続の確認

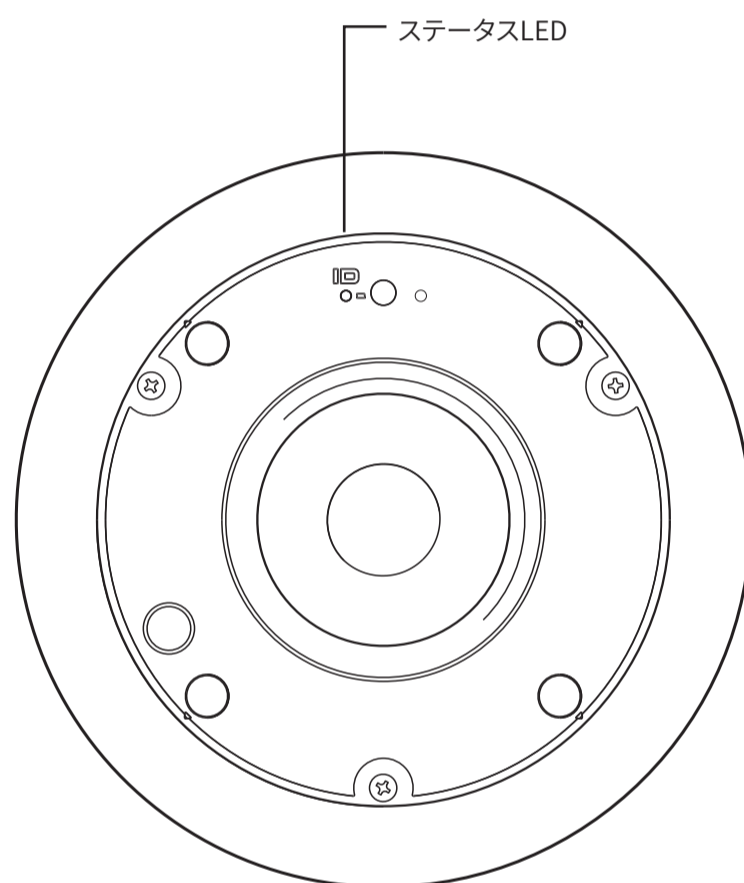
1. NL-C4が適切なPoE/PoE+ネットワークスイッチまたはミッドスパンインジェクタに接続されたら、LAN/PoEジャックのLEDでネットワークステータスを確認します。

左のLED	右のLED
黄	緑
消灯 - 切断	消灯 - 切断/10Mbps/100Mbps
点灯 - リンク	点灯 - 1ギガビット・リンク
点滅 - 動作	



2. Q-SYSのステータスについては、グリルの下にあるステータスLEDを確認してください(図6参照)。

	識別	初期化	不具合
NL-C4	黄 - 点滅	青 - ぼんやりと点滅	赤 - ぼんやりと点滅



— 図 6 —





## QSCセルフヘルプポータル

情報提供用の記事、説明を読んだ上で、ソフトウェアとファームウェアをダウンロードし、製品情報やトレーニングビデオを見てサポート事例を作成してください。

<https://qscprod.force.com/selfhelpportal/s/>

## カスタマーサポート

電話番号や営業時間情報を含むテクニカルサポートおよびカスタマーケアについてはQSCウェブサイトの「お問い合わせ」ページを参照してください。

<https://www.qsc.com/contact-us/>

## 保証

QSC限定保証書については、QCS, LLC.のウェブサイト[www.qsc.com](http://www.qsc.com)にアクセスしてください。